

球磨工業高等学校 2学年_全科「国語総合」シラバス（1～2月分）

1. 単元 《漢文》『論語』

2.単元の目標	3.評価規準
<p>【知識および技能】 ・『論語』の基礎事項と本文中の句法を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・『論語』を読み解き、現代にも通じる孔子の考え方に気付く。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・古代中国と現代日本の思考の共通する部分と異なる部分に気付かせ、興味関心を持つ。</p>	<p>【知識および技能】 ①『論語』の基礎事項と本文中の句法を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ②『論語』を読み解き、現代にも通じる孔子の考え方に気付くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ③古代中国と現代日本の思考の共通する部分と異なる部分に気付かせ、興味関心を持てる。</p>

4.授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価基準
第1回	前単元の復習	1	『卒業ホームラン』の復習を行う。 《方法》復習プリントの問題演習を行い、Classroomの解答を見て答え合わせを行う。	プリントの提出	
第2回	『論語』の基礎事項について押さえる	2	・『論語』について既習の知識をまとめる。 ・『論語』の基礎事項について押さえ、理解する。 《方法》 授業プリントの内容を講義、動画を視聴してまとめる。	プリントの提出	①
第3回	「学問」について学ぶ	3	・『論語』の「学問」についての漢文を読解し、句法と現代語訳を理解する。	プリントの提出	①・②
		4	《方法》 授業プリントの内容を講義、動画を視聴してまとめる。		
第4回	「仁」について学ぶ	5	・『論語』の「仁」についての漢文を読解し、句法と現代語訳を理解する。 《方法》 授業プリントの内容を講義、動画を視聴してまとめる。	プリントの提出	①・②
第5回	『論語』のまとめ・復習	6	・学んだ内容を復習し、現代に結びつく考え方について自分の意見を書く。 《方法》 授業プリントによるまとめと意見の記入（作文）	プリントの提出 Forms ミニテスト	②・③

球磨工業高校 2 学年 「現代社会」 シラバス (3 学期分散登校期間分)

期 間 1 月 2 8 日 (金) ~ 2 月 1 0 日 (木)

使用教材 教科書：改定版 高等学校 現代社会 (数研出版)

資料集：ライブ! 現代社会 2 0 2 1 (帝国書院)

1. 単元 第 2 節 日本国憲法と基本的人権 (6) 日米安保体制と近年の防衛問題 (p92~93)

第 3 節 日本の政治機構 (1) 国会のしくみと役割 (p94~95)

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <p>①教科書や資料集をもとに、日米同盟の変遷について理解する。</p> <p>②教科書や資料集をもとに、国会のしくみについて理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>③理解を深めるために、資料集やインターネット等の複数の資料を活用する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>④冷戦終結後の世界状況の中で、これまで日本が行ってきたことや、これから出来ることはどのようなことがあるか考える。</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>①教科書や資料集をもとに、日米同盟の変遷について理解することができる。</p> <p>②教科書や資料集をもとに、国会のしくみについて理解することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>③複数の資料を用いながら、単元の問いに対する答えを導くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>④冷戦終結後の世界状況の中で、これまで日本が行ってきたことや、これから出来ることはどのようなことがあるか考えることができる。</p>

※今回の分散登校期間における授業では、①・②及び③の評価規準を主とする。

4. 授業計画 (以下は 1/28~2/10 に実施される現代社会の授業 4 回分の計画です。既に終わっている範囲は次回以降の部分を行うこと)

No	学習項目	授業回	学 習 内 容	評 価 方 法	評価規準
1	日米安保体制と近年の防衛問題	1 時間目	<p>●プリント No.10<日米安全保障条約>の空欄穴埋めに取り組む。</p> <p>・参考：教科書 p92~93、資料集 p171~182、インターネット等</p> <p>★登校している生徒は、内容の確認及び解答解説を行う。</p>	<p>●プリントの取り組み状況(登校時に確認)</p> <p>●確認テスト(単元終了後)</p>	① ③
		2 時間目	<p>●プリント No.10<自衛隊の国際協力と海外派遣><日本の安全保障の変容>の空欄穴埋めに取り組む。</p> <p>・参考：教科書 p92~93、資料集 p171~182、p295~296、インターネット等</p> <p>★登校している生徒は、内容の確認及び解答解説を行う。</p>	<p>●プリントの取り組み状況(登校時に確認)</p> <p>●確認テスト(単元終了後)</p>	① ③ ④
		課題	<p>●確認テスト (Google Form)</p> <p>・プリント終了後、確認テストを実施する。</p>	●確認テスト	①

2	国会のしくみと役割	1時間目	<p>●プリント No.11<国民主権と議会制民主主義><国会の地位と構成>の空欄穴埋めに取り組む。</p> <p>・参考：教科書 p94～95、資料集 p131～138、インターネット等</p> <p>★登校している生徒は、内容の確認及び解答解説を行う。</p>	<p>●プリントの取り組み状況（登校時に確認）</p> <p>●確認テスト（単元終了後）</p>	②
		2時間目	<p>●プリント No.11<国会の権限><国会の現状と改革>の空欄穴埋めに取り組む。</p> <p>・参考：教科書 p94～95、資料集 p131～138、インターネット等</p> <p>★登校している生徒は、内容の確認及び解答解説を行う。</p>	<p>●プリントの取り組み状況（登校時に確認）</p> <p>●確認テスト（単元終了後）</p>	② ③
		課題	<p>●確認テスト（Google Form）</p> <p>・プリント終了後、確認テストを実施する。</p>	●確認テスト	②

登校しない日の授業について

- ・プリントの空欄の穴埋めを進めてください。
- ・授業の時間には必ず現代社会のクラスルームを開いておいてください。
- ・授業中に簡単な質問をクラスルームに提示するので必ず応答（コメント）してください。
※この質問は出席確認用です。コメントの内容で評価をするものではありません。
- ・確認テストの時は、回答が終わるまで教科書や資料集等は閉じておいてください。（カンニング禁止）
- ・No.11のプリントまで終わった場合は、No.12、No.13のプリントを進めてください。

※その他不明な点があれば、登校時に直接問い合わせてください。（クラスルーム等で質問をしても構いませんが、全てに対応できない可能性があります。）

球磨工業高等学校 2 学年「数学Ⅱ」シラバス（1～2月分）

1. 単元 5章 微分と積分 3節 積分

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不定積分や定積分の意味を理解する. 関数の定数倍や和・差の不定積分や定積分の値を求める事ができる. <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 微分と積分の関連性に着目できる. <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積分法の意味に関心をもつことができる. 	<p>【知識及び技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 不定積分や定積分の意味を理解する事ができる. 関数の定数倍や和・差の不定積分や定積分の値を求める事ができる. <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 微分積分の関連性に着目し計算できるようになる. <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 計画を立て, 実施し, 取組を振り返る.

4. 授業計画 【登校→登校日, 家庭→家庭学習】

	学習項目		学習内容	評価方法	評価規準
第1回	*不定積分 和・差 不定積分 教科書 P207～210 WRITE 問題集 P126～128	登校	・教科担当者の説明を聴き, 教科書を熟読し問題集を解く.	教科書の取り組み状況	① ②
		家庭	・WRITE 問題集 P 1 2 6～1 2 8 (※370 を除く)を解く ・F o r m s を解く	問題集の取り組み状況	④
第2回	*定積分 教科書 P 211～212 WRITE 問題集 P 129	登校	・教科担当者の説明を聴き, 教科書を熟読し問題集を解く.	教科書の取り組み状況	③
		家庭	・WRITE 問題集 P 1 2 9 ・F o r m s を解く	問題集の取り組み状況	④
第3回	*定積分の公式 教科書 P 213～214 WRITE 問題集 P 130～131	登校	・教科担当者の説明を聴き, 教科書を熟読し問題集を解く.	教科書の取り組み状況	①
		家庭	・WRITE 問題集 P 130～131 (※376. を除く) ・F o r m s を解く	問題集の取り組み状況	④

【注意】Forms は「数学Ⅱ クラスルーム」にあります

【提出〆切】WRITE 問題集：学年末考査終了日に提出、Forms：2/10(木)18:00まで

球磨工業高等学校 2 学年_全科「物理基礎」シラバス (1/28-2/10)

1. 単元 (1) 仕事の原理、仕事率 (2) 運動エネルギーと位置エネルギー

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕事の原理および仕事率を理解する。 運動エネルギーと重力による位置エネルギーを理解する。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身のまわりで利用されている道具について、仕事の原理を用いて利点を表現する。 運動エネルギーや位置エネルギーの増減に関する物理量を判断する。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の生徒の考えを取り入れながら、学びを深める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①仕事の原理および仕事率を理解できる。 ②運動エネルギーと重力による位置エネルギーを理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③身のまわりで利用されている道具について、仕事の原理を用いて利点を表現できる。 ④運動エネルギーや位置エネルギーの増減に関する物理量を判断できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤他の生徒の考えを取り入れながら、学びを深めることができる。

4. 授業計画

授業の進め方

- (1) 授業プリント（記入用）、演習プリント（問題）、演習プリント（解説）の3種類を配付します。
- (2) Google Meet で授業を行いますので、授業プリントに記入したり miro で他の生徒の考えを取り入れながら学習します。
- (3) 演習プリントで、学んだ内容を練習する。
- (4) 演習プリント裏面の解説を見ながら丸をつけ、間違いやわからないところは解説を読んで理解する。
- (5) Google Classroom で質問に回答することで出欠確認とします。

5. タイムスケジュール

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	仕事の原理、仕事率	1	<ul style="list-style-type: none"> Google Classroom から Meet に入室し教師の指示に従い授業を受ける。 教科書 P. 60-61 授業プリント N0. 22 	クラスルームの質問への回答	① ⑤
第2回	仕事の原理、仕事率	1	<ul style="list-style-type: none"> Google Classroom から Meet に入室し教師の指示に従い授業を受ける。 前時に学習した内容の調べ学習を、ジャムボードへまとめる。 miro でジャムボードを一覧しながら学びを深める。 	ジャムボードの完成 クラスルームの質問への回答	③ ⑤
第3回	運動エネルギーと位置エネルギー	1	<ul style="list-style-type: none"> Google Classroom から Meet に入室し教師の指示に従い授業を受ける。 教科書 P. 60-61 授業プリント N0. 22 	クラスルームの質問への回答	② ⑤
第4回	運動エネルギーと位置エネルギー	1	<ul style="list-style-type: none"> Google Classroom から Meet に入室し教師の指示に従い授業を受ける。 前時に学習した内容の調べ学習を、ジャムボードへまとめる。 miro でジャムボードを一覧しながら学びを深める。 	ジャムボードの完成 クラスルームの質問への回答	④ ⑤

球磨工業高校 2 学年「体育」シラバス (1/28～2/10)

1. 単元 (1) 選択球技 (2) 体育理論

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題を積極的に取り組む。健康・安全を理解し運動に取り組む。 <p>【思考・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の仕方を考え、工夫する。 <p>【運動の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各運動種目の動きを身に付ける。 <p>【知識・理解】</p> <p>運動やスポーツの効果的な学習の仕方を理解する。</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①課題を積極的に取り組むことができる。 ②健康・安全を理解し運動に取り組むができる。 <p>【思考・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③学習の仕方を考え、工夫できる。 <p>【運動の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④状況に応じた動きや対応をすることができる。 <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤運動やスポーツの効果的な学習の仕方を理解できる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 自宅	・体育理論 (選択球技)	1	選択球技の「おいたちと発展」 「競技特性」「ルールと審判法」を学習する。 (アクティブスポーツを参考) 部屋でできるトレーニング	課題点検 (後日登校時に) Formsによる取組アンケート	① ③
第2回 登校	・体育理論 (選択球技)	2	選択球技の「おいたちと発展」 「競技特性」「ルールと審判法」を学習。	課題点検 授業観察	① ③
第3回 自宅	・体育理論 (選択球技)	3	選択球技の「おいたちと発展」 「競技特性」「ルールと審判法」を自学。 (アクティブスポーツを参考) 部屋でできるトレーニング	課題点検 (後日登校時に) Formsによる取組アンケート	① ③
第4回 登校	・選択球技	4	選択球技 (バスケット・バレー・ハンドボール・サッカー・ソフトボール)	授業観察 技能テスト	② ④ ⑤

※分散登校により第1回と第2回、第3回と第4回が入れ替わる生徒もいる。

球磨工業高校 2 学年「保健」シラバス (1/28~2/10 分)

1. 単元 (1) 社会生活と健康

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【関心・意欲・態度】 健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組む。</p> <p>【思考・判断】 健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断する。</p> <p>【知識・理解】 健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付ける。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 ①健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組むことができる。</p> <p>【思考・判断】 ②健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断することができる。</p> <p>【知識・理解】 ③健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けることができる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 自宅	7 働くことと健康 (p 104. 105) 8 労働災害と健康 (p 106. 107) 9 健康的な職業生活 (p 108. 109)	1	・教科書を参考にノート P96・98・100 を解く。 1・2 学期に学んだことの復習。	Forms による取組アンケート 課題 (ノート)	① ②
第2回 登校	8 労働災害と健康 (p 106. 107) 9 健康的な職業生活 (p 108. 109)	2	・説明を聞く。 ・必要事項をノートにまとめる。	授業観察 課題点検	③

※分散登校により第1回目と第2回目が入れ替わる生徒もいる。

球磨工業高等学校 2 学年__全科「コミュニケーション英語Ⅱ」シラバス(1~2月分)

1. 単元 (1) 教科書 Lesson5 The High school Student Restaurant

2. 単元の目標	3. 評価規準
【関心・意欲・態度】 ・職業について関心を持ち、積極的に内容に取り組む。 【表現の能力】 ・It is ~to... (動詞の原形) を用いて、正しい文を書く。 【理解の能力】 ・本文中の代名詞が指す内容や注意すべき意味について理解する。 【知識・理解】 ・It is ~to... (動詞の原形) の基本的な用法を理解している。	【関心・意欲・態度】 ①職業について関心を持ち、積極的に内容に取り組むことができる。 【表現の能力】 ②It is ~to... (動詞の原形) を用いて、正しい文を書くことができる。 【理解の能力】 ③本文中の代名詞が指す内容や注意すべき意味について理解できる。 【知識・理解】 ④It is ~to... (動詞の原形) の基本的な用法を理解できる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	場所	学習内容	評価方法	評価規準
1	Lesson5-1 50ページ	学校	(1) 教科書音読 (2) 教科書51ページ (3) Lesson5-1 プリント (4) forms で英作文を提出する。	テスト提出物 授業態度	① ② ③ ④
		家庭	(1) 校内検定プリント(12回)	提出物	
2	Lesson5-2 52ページ	学校	(1) 教科書音読 (2) 教科書53ページ (3) Lesson5-2 プリント (4) (宿題/classroom) 音読テスト	テスト提出物 授業態度	① ② ③ ④
		家庭	(1) 本文書きプリント (2) 提出物確認 ①教科書(51ページ、53ページ)、 ②Lesson5-1 プリント ③Lesson5-2 プリント、 ④校内検定プリント ⑤本文書きプリント	提出物	

※学年末考査内容(予定)

- (1) チャンクで英単語(Step17、Step18)
- (2) Lesson5-1(教科書50~51ページ)とそのプリント
Lesson5-2(教科書52、53ページ)とそのプリント
- (3) 校内検定12回

※【提出物について】

- (1) 教科書、プリントの提出物は学年末考査の英語のテストが実施される日に、英語係に提出。
- (2) 冬休みの宿題(ドリルノット)の未提出、再提出は、登校時に提出。最終締切、提出方法は(1)と同じ。

球磨工業高等学校 2 学年_全科「家庭基礎」シラバス（1～2月分）

1. 単元 子どもと共に育つ ①子どもの育つ力を知る

2. 単元の見どころ	3. 評価規準
<p>【関心・意欲・態度】 ・子どもの心身の発達について関心を持ち、子どもを支える大人の役割を考える。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・遊びの重要性を知り遊び環境がもたらす課題について考える。</p> <p>【技能】 ・子どもの発達に応じて適切に関われるようになる。</p> <p>【知識・理解】 ・子どもの心身の発達段階を知る。 ・子どもの健全な発達を支える大人や遊びの役割を理解する。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 ①子どもの心身の発達について関心を持ち、子どもを支える大人の役割を考えようとしている。</p> <p>【思考力・判断・表現】 ②遊びの重要性を知り遊び環境がもたらす課題について考えを深めることができる。</p> <p>【技能】 ③子どもとの触れ合いに、発達に応じた関わりをいかすことができる。</p> <p>【知識・理解】 ④子どもの心身の発達の特徴を理解している。 ⑤子どもの健全な発達を支える大人や遊びの役割を理解している。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	はじめに 生まれつき持っている能力 乳幼児期の成長	1	<p>・プリント「子どもと共に育つ」に取り組む。 (教科書 p 34～35 の写真も見ながら) ※生活学 N a v i p 26～も参考にする。</p> <p>・教科書 p 36～37 を読み、プリント「子どもの育つ力を知る① (No 1)」に取り組む</p>	課題プリント	① ④
第2回	心の発達 遊びの発達	1	<p>・教科書 p 39～40 を読み、プリント「子どもの育つ力を知る② (No 1)」に取り組む。</p> <p>・教科書 p 40～41 を読み、プリント「子どもの育つ力を知る② (No 2)」に取り組む。</p>	課題プリント	② ④ ⑤

※教科書の図や表などもしっかり見ながら、プリントに取り組みましょう。

・解答はクラスルームで配付しますので、各自確認してください。補足説明等は分散登校日の授業で行います。

・プリントは、なくさないようにファイルに綴じておいてください。

球磨工業高等学校 2 学年_電気科「実習」シラバス（1月～2月）

1. 単元

(1) シーケンス制御4 (2) DCGの並行運転 (3) 単相交流電力の測定

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 各実習の項目において、電気の知識を習得する。</p> <p>(2) 各実習の項目において、電気の技術を習得する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>(1) 電気理論や回路の結線を理解し、計測や製作を行う。</p> <p>(2) 機器や道具の用途を踏まえ、使用方法を理解し計測や製作を行う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>(1) 計画を立て実施する。また、更なる興味を持ち、意欲的な態度を示す。</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>①各実習項目において内容を理解し、行動することで知識の理解度を評価する。</p> <p>②各機器や道具を正しく使用することで、技術度を評価する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>③レポートを作成することで、実習内容の理解度を判断する。</p> <p>④レポートの表現や内容により各実習内容の理解度を判断する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>⑤計画を立て、更なる興味を持ち、意欲的な態度を示すことで評価する。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 1月28日	課題に取り組む。	3	○課題に取り組む。 ・各自で課題を見つけて取り組む。 (工業標準テストなど)	課題の提出	③ ⑤
第2回 2月4日	1班 シーケンス制御4 2班 DCGの並行運転 3班 単相交流電力の測定	3	1班 シーケンス制御を学ぶ。 (2人1台で実習) 2班 直流発電機の並行運転の実験 (直流発電機を使用) 3班 交流電力の測定方法を学ぶ。 (単相電力計を使用)	・実習レポート ・実験、実習の態度 および取り組む姿勢 ・関係知識の理解と 実験内容の理解	①② ③ ④ ⑤

球磨工業高等学校 2学年__電気科 「製図」シラバス(1～2月)

使用教材 教科書:電気製図(実教出版)、パソコン

1.単元 第8章 CADシステムの概要と基礎知識を学習する。

2.単元の目標	3.評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CADに関する基礎知識と技術を習得する。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CADの操作を行なう手順を学び、機能をよく理解し、CADの有効的な活用について学ぶ。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習問題を行ない、積極的に取り組む。 ・課題を行ない、真剣に取り組む。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①製図の基本である文字や線の書き方について学び、正確で美しい文字や線を表すことができる。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ②製図の基本である文字や線の書き方について創意工夫し、正確で美しい文字や線を書くことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③演習問題の作図を正確に行ない、積極的に取り組む。 ④課題に対して、真剣に取り組み期日までに提出。

4.授業計画(対面授業)

授業回	学習項目	授業班	学 習 内 容	評 価 方 法	評価規準
第1回 2月3日	CAD の基本	A	<ul style="list-style-type: none"> ・演習問題 No. 10(複線の練習) ・演習問題 No. 11、12(伸縮の練習) ・演習問題 No. 13(面取の練習) ・演習問題 No. 15(文字の練習) 	演習問題の 作図評価	① ② ③
第2回 2月10日		B	<ul style="list-style-type: none"> ・演習問題 No. 10(複線の練習) ・演習問題 No. 11、12(伸縮の練習) ・演習問題 No. 13(面取の練習) ・演習問題 No. 15(文字の練習) 		① ② ③

4.授業計画(家庭学習)

授業回	学習項目	授業班	学 習 内 容	評 価 方 法	評価規準
第1回 2月3日	課題プリント に取り組む。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に取り組む。 ・各自で課題を見つけて取り組む。(テスト勉強や工業標準テストなど) ・提出用レポート4枚以上を提出。 	課題の提出	④
第2回 2月10日		A	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に取り組む。 ・各自で課題を見つけて取り組む。(テスト勉強や工業標準テストなど) ・提出用レポート4枚以上を提出。 		④

球磨工業高等学校 2 学年_電気科「電気基礎」シラバス (1～2 月分)

1. 単元 実教出版「電気基礎 1・2」 全範囲

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気現象を公式を使い導くことで理論的に理解する。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 直流回路、磁気回路、静電力、交流回路、電気計測、情報分野を中心に、電気に関わる様々な現象の理解と計算方法を理解し表現する。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画を立て、実施し、取組をふり返る。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①電気の基礎について理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ②電気に関する基礎的なしくみを理解し、電気に関わる様々な現象の理解と計算方法を理解し表現することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③計画を立て実施し取組をふり返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 回	2018 (H30)	1	2018 (H30) の過去問を解く。		①
			・課題プリントの問題を解く。	レポート課題の提出	②③
第 2 回	2019 (R01)	1	2019 (R01) の過去問を解く。		①
			・課題プリントの問題を解く。	レポート課題の提出	②③
第 3 回	2020 (R02)	1	2020 (R02) の過去問を解く。		①
			・課題プリントの問題を解く。	レポート課題の提出	②③
第 4 回	2018 (H30)	1	2018 (H30) の過去問を解く。		①
			・課題プリントの問題を解く。	課題の提出	②③
第 5 回	2019 (R01)	1	2019 (R01) の過去問を解く。		①
			・課題プリントの問題を解く。	課題の提出	②③
第 6 回	2020 (R02)	1	2020 (R02) の過去問を解く。		①
			・課題プリントの問題を解く。	課題の提出	②③

球磨工業高等学校 2 学年_電気科「電気機器」シラバス (1～2 月分)

1. 単元 実教出版「電気機器」第4章 誘導機 (章末問題)
第5章 同期機 1 節三相同期発電機

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘導機の特性について理解する。 ・三相同期発電機について学ぶ。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘導機に関する計算問題に取り組む。 ・三相同期発電機のしくみを理解する。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画を立て、課題に対して関心を持って取り組む。不明な点は登校時に質問する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①誘導機の計算問題について理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ②誘導機に関する計算を教科書等参考にして、理解し、表現できる。 ④同期機の特性を表現できる。 ⑤材料の用途について説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥計画を立て実施し取組をふり返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	章末問題	1	課題プリント章末問題A。	プリントの取組状況。	① ② ⑥
第2回	章末問題	1	課題プリント章末問題A。	プリントの取組状況。	① ② ⑥
第3回	章末問題	1	課題プリント章末問題Aもしくは章末問題B。	プリントの取組状況。	① ② ⑥
第4回	章末問題	1	課題プリント章末問題Aもしくは章末問題B。	プリントの取組状況。	① ② ⑥
第5回	同期発電機の原理と構造	1	・教科書P163～P170を読んで、プリントの課題を解く。	プリントの取組状況。	⑤ ⑥
第6回	同期発電機の電機子反作用	1	・教科書P163～P170を読んで、プリントの課題を解く。	プリントの取組状況。	⑤ ⑥

球磨工業高等学校 2 学年_電気科「電子技術」シラバス（2 月分）

1. 単元 デジタル回路、音響映像機器を除く全範囲

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 無線工学に係る知識を理解する。 必要な法規を暗記する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 無線に係る内容の電気的特性を理解し表現する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画を立てて行い、最後まで取り組む。 	<p>【知識・技能】</p> <p>①無線工学に係る知識を理解し課題を解くことができる。法規について覚えている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>②無線に係る内容の電気的特性を理解し表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>③繰り返し課題に取り組み、課題を克服できる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 回	陸上特殊無線工学	1	・工学問題No. 50-80	問題の終了	①②
			・Web上の問題を解く。 第二級陸上特殊無線技士工学3 第二級陸上特殊無線技士工学4		① ② ③
第 2 回	陸上特殊無線工学	1	・工学問題No. 81-115	問題の終了	①②
			・Web上の問題を解く。 第二級陸上特殊無線技士工学5 第二級陸上特殊無線技士工学6		① ② ③
第 3 回	陸上特殊無線法規	1	・法規問題No. 21-60	問題の終了	①②
			・Web上の問題を解く。 第二級陸上特殊無線技士工学2 第二級陸上特殊無線技士工学3		① ② ③
第 4 回	陸上特殊無線法規	1	・法規問題No. 61-92	問題の終了	①②
			・Web上の問題を解く。 第二級陸上特殊無線技士工学4 第二級陸上特殊無線技士工学5		① ② ③